

関係各位

レンゴー株式会社  
広報部広報課

## 第26回地球環境大賞「環境大臣賞」を受賞

レンゴー株式会社（本社：大阪市北区、会長兼社長：大坪 清）は、このたび、「第26回地球環境大賞」（主催：フジサンケイグループ 後援：経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、一般社団法人 日本経済団体連合会）において「環境大臣賞」の受賞が決定いたしました。

地球環境大賞は「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、産業界を対象とする顕彰制度として1992年に創設されたもので、環境分野における最も権威ある賞のひとつといわれています。

今回の当社の受賞は、「ハード・ソフト両面におけるCO<sub>2</sub>排出削減とパッケージづくりを通じた環境や社会的課題の解決」への取組みが高く評価されたものです。

当社はこれからも、“Less is more.”をキーワードに、より少ない資源で大きな価値を生む、人にも環境にも優しいパッケージづくりを通じて、環境への取組みを強化してまいります。

なお、授賞式は2017年4月10日、東京・元赤坂の明治記念館で行われる予定です。

### 【受賞要旨】

『ハード・ソフト両面におけるCO<sub>2</sub>排出削減とパッケージづくりを通じた環境や社会的課題の解決』

“Less is more.”をキーワードに環境や社会的課題の解決に向け、持続可能な生産や革新的なパッケージの開発を推進。日本国内最大の板紙工場である八潮工場において、埼玉県目標設定型排出量取引制度施行を機に、CO<sub>2</sub>排出削減に取り組むチーム「低燃費八潮」を結成し、省エネ活動を実施・評価する仕組みを構築し、ソフト面からのCO<sub>2</sub>排出削減を進める一方、ハード面でも2016年1月に木質チップバイオマスボイラ発電設備を導入し、年間約65,000トンのCO<sub>2</sub>排出量削減を実現した。また、製紙、段ボール、紙器の全工場でFSC®森林認証を取得し、業界に先駆けFSC段ボール・紙器製品の供給体制を確立した。



八潮工場木質チップバイオマスボイラ発電設備



責任ある森林管理のマーク  
FSC 森林認証マーク



流通現場の人手不足解消とローコストオペレーションを実現する「レンゴー スマート・ディスプレイ・パッケージング」



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

以上